

評価項目	学校関係者評価委員からの意見等	意見等に対する今後の手立て
1 教育理 念・目的・ 育成人材 像等	ガイドブックには教育理念が書かれているが、学校案内パンフレット、学生募集要項には書かれていないので、教育理念を記載するとよいと思う。	次年度の学校案内パンフレット、学生募集要項に教育理念を記載する。
2 学校運営	組織図の中で学生生活支援や就職支援はどの委員会でやっているのか？ 学生対応については、見える形にしたほうがよいのではないか？ 「教務課」ではなく「教学課」とした方がよいのではないか？  ・災害対応については学生に教える必要がある。学内に危機管理委員会があってもいいのではないか？ ・防災の専門的な知識を持った職員がいることが学校運営として必要ではないか？ ・岐阜大学で防災リーダー育成の研修が計画されているので参加したらよいのではないか？	平成29年度より従前の指導課・教務係・指導係から教務課・教務係とし学生窓口も一本化したところである。引き続き「教務課」として学生対応する。  今年度の防災リーダー育成研修に教職員1名が参加し、学内の防災体制に役立てる。
3 教育活動	学生に対してマンツーマンで教育していることはよいことであるが、注意してほしいのは、保護しすぎて自立できない学生では困る。教えたこと以外にも対応し、コミュニケーションできる学生を育てて欲しい。  資料13ページの授業評価アンケートについて授業満足度が7割を切っている授業は気になる。教員の自己評価も行い、学生アンケートとの乖離があるのかどうか検討が必要ではないか？	コミュニケーション能力向上の必要性については認識している。引き続き実習における共同作業の場やインターンシップでの職場体験を通じコミュニケーション能力向上を図る。  ・アンケートの回答から、満足度が低い理由・要因を解明し、担当教員自ら改善計画を作成し、教職員全体で対応を検討する。 ・該当する授業及び教員の資質に対する向上研修をリストアップして、教員に受講させる。
II 評価項目の 達成状況 及び取組 状況  4 学修成果	2級造園技能検定の実技の合格率が低いのが気になる。	・実技試験(実技・要素)の不合格の原因を解明して、合格レベルに達するまで学生に対し指導する。
5 学生支援	スクールカウンセラーでの相談者は多いのか？	平成29年度からスクールカウンセラーを設置し、年間9回、1日2時間の相談を行い、毎回1～2名程度が利用した。スクールカウンセラーを継続して設置する。
6 教育環境	・インターンシップ先の選定や交渉はだれがやっているのか？ インターンシップ先は学生が自分で決め、交渉についても自分で電話をして、自主性を育てたほうが良いのではないか？  障がい者対応のバリアフリーの施設となっているのか？ 対応がされているのであれば、評価項目に入れたらどうか。	・インターンシップ先は将来について学生の自主性を尊重しつつ教員とともに選定している。 ・また、インターンシップは授業であり、先方への交渉はまず、責任のある教員が説明・交渉を行う必要があると考えている。 ・今後は、先方に調整が取れた後、必ず、学生から連絡させ、挨拶、業務内容等の確認を行うよう指導する。  文部科学省ガイドラインの評価項目には入っていないが、次年度は記載する方向で検討する。

7 学生の受 入れ募集	<p>農業高校で花を学ぶ生徒にとって園芸アカデミーはあこがれの学校です。引き続き担い手育成を目指した学校としてお願いしたい。</p> <p>・学生募集では約6割は県内出身者の確保を目指しているが、県内外出身者の応募者で差をつけるのは難しいのではないか？・県内出身者の確保を気にしているのはどこなのか？ ・県内外の出身にこだわらず、世界に羽ばたき活躍するような花のスターを育て国際園芸アカデミーが有名になれば、日本中から集まるようになる。</p> <p>留学生の受け入れは可能か？</p>	<p>引き続き、花に関わる業界で活躍できる人材の育成を目指します。</p> <p>県立の学校であることから、推薦入試Ⅰでは県内高校出身者を対象としているが、推薦入試Ⅱでは県外高校出身者とし、一般入試では県内外出身者を問わない対象とした受け入れをしている。「県内出身者の確保」に関する指標の設定については今後検討する。</p> <p>・留学生は一般入試により受験可能である。</p>
8 法令順守	特になし	
9 社会貢献・ 地域貢献	特になし	
10 国際交流	特になし	